

# 令和5年度 自然災害対応訓練結果報告

実施日時	令和5年10月20日 午前 9時30分から午前 11時30分 天候 くもり
災害発生想定日時	令和5年10月20日 午前 10時05分 災害発生
災害想定内容	急激なゲリラ豪雨により道路の一部が冠水、バスが激しい水流により用水路に脱輪し走行不能状態。今後、水位の上昇により横転が予想される、車内には数名の乗客がいる。
訓練参加人員	(有)中川観光バス本社・大郷営業所 以下 22名 / 黒川消防本部 以下 3名
訓練の種類	通報訓練・避難訓練・応急処置訓練・社内対応訓練
訓練の概要	別紙「令和5年度 自然災害対応訓練実施要項」による。



訓練指導員から説明



消防署員と最終打合せ



AM 10:05 訓練開始

## ① 止める

○ハザードランプを点灯し、バスを完全に停止させる。



## ② 確かめる

○災害被災の規模、現在地、乗客の安否確認(人数・負傷の有無)を行い、119番通報の実施。



模擬119番通報 [救助要請]

## ③ 知らせる

○乗客の不安動揺を静めるとともに、現在の状況と対策を説明する。  
・今後水位の上昇により横転が予想されるため、車内から避難する旨を伝える。



※走行不能で身動きが取れない状態のため救助要請

## ④ 導く

○非常口から乗客の緊急避難を開始する。  
・降車した乗客に救援を求め手助けをしてもらう。  
・降車する際、乗客が負傷をしないように。




















## ⑤ 離れる

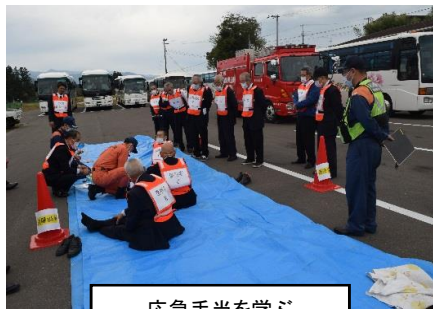
○乗客を安全な場所に避難誘導する。車内に逃げ遅れた乗客の再確認。  
・避難経路を確保しながら乗客を避難誘導する。  
・負傷者の避難は乗客に協力してもらう。



緊急車両到着!!

<p>⑥ 確かめる</p>	<p>○避難場所での乗客の安否確認(人数・負傷の有無)を行う。 ・数名の傷病者がいるため、119番通報を行う。</p>		  <p>模擬119番通報 [救急要請]</p> <p>※乗客が負傷したため救急要請</p>
<p>⑦ 応急処置</p>	<p>○傷病者は丁寧に保護し、乗客に医師又は熟練者がいる場合は、協力を求め救急車が到着するまで応急処置を行う。</p>		
<p>⑧ 知らせる</p>	<p>○直轄の営業所に災害・被災状況等の報告を行う。 ・運行管理者は、極力実態の把握に努め報告内容を記す。運転士が動揺しないように落ち着いた指示を出す。</p>		 
<p>⑨ 会社対応</p>	<p>○災害について、上司及び代表取締役へ報告をする。対策本部の設置。 ・災害現場に各担当者を派遣し情報収集に当たらせる。支援車輛の搬送。</p>		  <p>支援車輛を搬送</p>
<p>⑩ 導く</p>	<p>○乗客の安全確保・二次災害防止のため、支援車輛に乗客を誘導し避難させる。 ・支援車輛には食料、飲料、毛布、タオル等を完備している。</p>		 
<p>⑪ 会社対応</p>	<p>○現場に到着した担当者は災害・被災状況の把握に努める。 ・傷病者の搬送先を消防から聞き会社へ連絡する。 ・被災した車輛の走行の可否を会社へ報告する。報告内容は時系列にまとめ整理し、記録する。</p>		  <p>AM 10:40 訓練終了</p>

☆ 訓練後に消防署員の方から応急手当等の手法を学びました。



AM 11:30 無事終了しました。